

各科診療科長
各科診療科副科長
各医局長 殿
各看護師長

Drug Information News

平成27年10月27日

NO.268

目次

【1】 添付文書の改訂	-----	P1
【2】 新規採用医薬品情報	-----	P3
【3】 インシデント事例からの注意喚起	-----	P7
【4】 医薬品に関わる医療安全情報	-----	P12



薬剤部HP (<http://www.med.oita-u.ac.jp/yakub/index.html>) に内容を掲載しています。

大分大学医学部附属病院薬剤部医薬品情報管理室

(内線:6108 E-mail:DI@oita-u.ac.jp)

【1】添付文書の改訂

1

薬効分類番号	商品名	①警告	②禁忌	③効能効果	④効能効果(注意)	⑤用法・用量	⑥用法用量(注意)	⑦原則禁忌	⑧慎重投与	⑨重要な基本的注意	⑩相互作用(禁忌)	⑪相互作用(注意)	⑫副作用	⑬重大な副作用	⑭高齢者投与	⑮妊産婦授乳婦投与	⑯小児投与	⑰過量投与	⑱適用上の注意	⑲薬物動態	⑳その他	改訂年月日
113	ラミクタール錠小児用2mg、小児用5mg、25mg、100mg			○	○	○	○					○	○				○			○		H27.9
114	ロビオン静注50mg																				○	H27.9
117	シンメトレル錠50mg	○			○									○								H27.9
131	シクアス点眼液3%																		○		○	H27.9
212	アミオダロン塩酸塩速崩錠50mg、100mg「TE」		○							○	○	○	○	○								H27.9
225	アノーロエリプタ7吸入用																			○		H27.10
226	イオダインガーグル液7%													○								H27.9
239	インフリキシマブBS点滴静注用100mg「NK」												○									H27.9
249	リュープリン注射用1.88mg、3.75mg、キット1.88mg、キット3.75mg												○									H27.9
249	リュープリンSR注射用キット11.25mg									○			○									H27.9
249	ランタス注ソロスター		○				○			○							○					H27.9
253	メテルギン錠0.125mg		○								○	○		○								H27.10
253	バルタンM注0.2mg		○								○	○										H27.10
333	イグザレルト錠10mg、15mg	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○							H27.9
396	ルセフィ錠2.5mg								○	○			○	○								H27.9
396	トラゼンタ錠5mg												○									H27.9
396	アブルウェイ錠20mg								○	○				○								H27.9
396	スーグラ錠50mg								○	○			○	○								H27.9
396	ジャディアンズ錠10mg								○	○		○	○	○		○						H27.9
396	カナグル錠100mg								○	○				○								H27.9
396	フォシーガ錠5mg								○	○				○								H27.9
399	イムセラカプセル0.5mg												○	○								H27.9
424	バクリタキセル点滴静注液30mg/5mL、100mg/16.7mL「ホスピーラ」					○	○			○			○									H27.9
429	アーゼラ点滴静注液100mg、1000mg						○			○				○								H27.9
429	スプリセル錠20mg、50mg												○		○	○						H27.9
429	ヤーボイ点滴静注液50mg									○				○								H27.9
429	オブジーボ点滴静注20mg、100mg									○			○	○								H27.9
429	ジャカビ錠5mg			○	○	○	○						○	○							○	H27.9

薬効分類番号	商品名	①警告	②禁忌	③効能効果	④効能効果（注意）	⑤用法・用量	⑥用法用量（注意）	⑦原則禁忌	⑧慎重投与	⑨重要な基本的注意	⑩相互作用（禁忌）	⑪相互作用（注意）	⑫副作用	⑬重大な副作用	⑭高齢者投与	⑮妊産婦授乳婦投与	⑯小児投与	⑰過量投与	⑱適用上の注意	⑲薬物動態	⑳その他	改訂年月日
429	アレセンサカプセル20mg、40mg												○							○		H27.9
614	ジスロマック細粒小児用10%					○	○							○								H27.9
614	ジスロマック錠250mg、600mg、SR成人用ドライシロップ2g、点滴静注用500mg													○								H27.9
624	クラビット点滴静注バッグ500mg/100mL			○									○	○						○		H27.9
625	スンペブラカプセル100mg												○	○								H27.9
626	ダクルインザ錠60mg												○	○								H27.9

【2】新規採用医薬品情報(平成27年10月採用)

はじめに

平成27年9月薬事委員会にて新しく常用・診療科限定・患者限定・院外専用薬として採用された薬剤について、順に採用身分と医薬品情報(一部)を掲載しています。既に他規格を採用中の薬剤及び同一成分薬の切り替えについては医薬品情報を省略しています。

●処方オーダー

【常用】

(外用)

デュオトラバ配合点眼液

【診療科限定】

(内用)

トピナ細粒10%

プリモボラン錠5mg

トピロリック錠40mg

ノウリアスト錠20mg

(外用)

ルリコン軟膏1%

ネオキシテープ73.5mg

【院外専用】

(内用)

ユーエフティE配合顆粒T200

ムコソルバンL錠45mg

(外用)

デタントール0.01%点眼液

(注射)

ノボラピッド50ミックス注フレックスペン

●注射オーダー

【常用】

オキサリプラチン点滴静注液 50mg/10mL、100mg/20mL

「ホスピーラ」

【患者限定】

スミフェロン注DS300万IU

【常用】デュオトラバ配合点眼液

→院外専用医薬品からの切り換えのため、DI省略

【科限】トピナ細粒 10%

→トピナ錠50mg採用中のため、DI省略

【科限】プリモボラン錠 5mg

【禁忌】

1. アンドロゲン依存性悪性腫瘍（例えば、前立腺癌）及びその疑いのある患者
2. 妊婦又は妊娠している可能性のある女性

【一般名】

メテノロン酢酸エステル

【効能・効果】

- ・骨粗鬆症

下記疾患による著しい消耗状態

- ・慢性腎疾患，悪性腫瘍，外傷，熱傷

下記疾患による骨髄の消耗状態

- ・再生不良性貧血

【用法・用量】

メテノロン酢酸エステルとして，通常，成人1日10～20mgを2～3回に分割経口投与する。なお，年齢，症状により適宜増減する。

【併用注意】

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
副腎皮質ホルモン剤	耐糖能の低下がみられることがある。観察を十分に行い慎重に投与すること。	機序は不明
ワルファリンカリウム	これらの作用を増強することがある。観察を十分に行い慎重に投与すること。	機序は不明

【副作用】

重大な副作用：肝機能障害，黄疸（頻度不明）

【科限】トピロリック錠 40mg

→院外専用医薬品からの切り換えのため、DI省略

【科限】ノウリアスト錠 20mg

→患者限定医薬品からの切り換えのため、DI省略

【科限】ルリコン軟膏 1%

→ルリコンクリーム1%採用中のため、DI省略

【科限】ネオキシテープ 73.5mg

→院外専用医薬品からの切り換えのため、DI省略

【院外】ユーエフティ E 配合顆粒 T200

→ユーエフティE配合顆粒T150採用中のため、DI省略

【院外】ムコソルバン L 錠 45mg

→ムコソルバン錠15mg採用中のため、DI省略

【院外】デタントール 0.01%点眼液

→常用医薬品からの切り換えのため、DI省略

【院外】ノボラピッド 50 ミックス注フレックスペン

→ノボラピッド30ミックス注フレックスペン、70ミックス注フレックスペン採用中のため、DI省略

【常用】オキサリプラチン点滴静注液 50mg/10mL、100mg/20mL

「ホスピーラ」

【警告】

1. 本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。
2. 本剤投与後数分以内の発疹、そう痒、気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下等を伴うショック、アナフィラキシーが報告されているので、患者の状態を十分に観察し、過敏症状(気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下等)が認められた場合には、本剤の投与を直ちに中止し適切な処置を行うこと。また、回復後は本剤を再投与しないこと。
3. 本剤はレボホリナート及びフルオロウラシルの静脈内持続投与方法等との併用の場合に有用性が認められており、用法及び用量を遵守すること。また、本併用療法において致死的な転帰に至る重篤な副作用があらわれることがあるので、患者の状態を十分観察し、異常が認められた場合には、速やかに適切な処置を行うこと。なお、本剤の使用にあたっては、添付文書を熟読のこと。

【禁忌】

1. 機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全のある患者
2. 本剤の成分又は他の白金を含む薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者
3. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【一般名】

オキサリプラチン

【効能・効果】

治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌、結腸癌における術後補助化学療法、治癒切除不能な膵癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌

【用法・用量】

1. 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌及び結腸癌における術後補助化学療法にはA法又はB法を、治癒切除不能な膵癌にはA法を、治癒切除不能な進行・再発の胃癌にはB法を使用する。なお、患者の状態により適宜減量する。

A法：他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはオキサリプラチンとして85mg/m²(体表面積)を1日1回静脈内に2時間で点滴投与し、少なくとも13日間休薬する。これを1サイクルとして投与を繰り返す。

B法：他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはオキサリプラチンとして130mg/m²(体表面積)を1日1回静脈内に2時間で点滴投与し、少なくとも20日間休薬する。これを1サイクルとして投与を繰り返す。

2. 本剤を5%ブドウ糖注射液に注入し、250～500mLとして、静脈内に点滴投与する。

【併用注意】

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
放射線照射	骨髓機能抑制等を増強することがあるので、併用療法を行う場合には、患者の状態を十分に観察し、必要に応じて減量するか又は投与間隔を延長する。	併用により殺細胞作用が増強される。

【副作用】

重大な副作用：末梢神経症状、ショック、アナフィラキシー、間質性肺炎、肺線維症、骨髓機能抑制、溶血性尿毒症症候群、薬剤誘発性血小板減少症、溶血性貧血、視野欠損、視野障害、視神経炎、視力低下、血栓塞栓症、心室性不整脈、心筋梗塞、肝静脈閉塞症、急性腎不全、白質脳症(可逆性後白質脳症症候群を含む)、高アンモニア血症、横紋筋融解症、難聴、感染症、肝機能障害(いずれも頻度不明)

【患限】 スミフェロン注 DS300 万 IU

→スミフェロン注DS600万IU採用中のため、DI省略

【3】 インシデント事例からの注意喚起

平成 27 年 9 月の院内インシデント報告事例の中から、医薬品を安全に使用するために注意すべき事例などを挙げています。

当院における後発医薬品への切り換え

国民皆保険制度は日本の世界に誇る公的医療保険制度ですが、その一方で急激な少子高齢化や高度医療の進展により国民医療費は増加の一途をたどっています。そのため、医療資源の有効活用に向けた取り組みとして、平成 25 年 4 月に厚生労働省が発出した「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」では、平成 24 年度末の後発品の数量シェア約 40%を 5 年後の平成 29 年度末には 60%にまで引き上げることが掲げられています。

当院でも後発医薬品への切り換えを順次行っており、平成 27 年度第 3 回理事委員会でも新たに 12 品目の後発医薬品が採用となりました。名称変更による現場の混乱もあるかと思いますが、現在新規に承認申請する場合の名称は『一般名+剤形+含量+会社名』（例 ファモチジン D 錠 10mg 「サワイ」）で統一されており、既存のブランド名が付いた後発医薬品も前記の名称に変更することが増えています。また、薬剤部でも先発医薬品・後発医薬品対応表を適宜更新し、BUNGO Information に掲載しています。

The screenshot shows the BUNGO Information website interface. On the left is a navigation menu with various links. The main content area displays several notices, with the '後発品のお知らせ' link highlighted by a red circle and a white arrow pointing to a detailed spreadsheet titled '先発医薬品・後発医薬品対応表'. The spreadsheet lists various drugs, their generic names, and corresponding manufacturers.

図 先発医薬品・後発医薬品対応表の閲覧方法

以下に 10 月現在の先発医薬品・後発医薬品対応表を載せていますのでご参照ください。

	先発医薬品	後発医薬品
〔内服薬〕		
1	-	EPLカプセル 250mg
2	-	アーガメイト20%ゼリー 25g
3	●アルマール錠 10mg	アロチノール塩酸塩錠10mg「サワイ」
4	●テノーミン錠25	アテノール錠25mg「ファイザー」
5	●アリミデックス錠1mg	アナストロゾール錠1mg「SN」
6※	●ノルバスクOD錠2.5mg	アムロジピンOD錠2.5mg「トーワ」
7※	●アムロジンOD錠5mg	アムロジピンOD錠5mg「明治」
8	-	アンギナール散 12.5%
9	●ニトロールRカプセル20mg	イソコナールRカプセル20mg
10	●イトリゾールカプセル50	イトラコナゾールカプセル50mg「SW」
11	-	インクレミンシロップ5% 250mL
12	●アレジオン錠20	エピナスチン塩酸塩錠20mg「ファイザー」
13	●カバサール錠1.0mg	カベルゴリン錠1.0mg「サワイ」
14	●ロカルトロールカプセル 0.25	カルシオロールカプセル 0.25
15	-	カロナール細粒50%
16	-	カロナール錠 200
17	-	カロナール錠 500
18	-	カロリールゼリー40.496% 16.05g
19	●グリミクロン錠40mg	グリクラジド錠40mg「NP」
20	●オイグルコン錠2.5mg	グリベンクラミド錠2.5mg「EMEC」
21	●ケフラルカプセル 250mg	セファクロルカプセル250mg「サワイ」
22	●ケフラル細粒小児用 100mg	セファクロル細粒小児用10%「サワイ」
23	●ザイロリック錠100	サロベール錠100mg
24	-	ジヒデルゴット錠1mg
25	●メトリジン錠2mg	ミドドリン塩酸塩錠2mg「オーハラ」
26	●ホクナリン錠 1mg	セキナリン錠 1mg
27	●ケフラルカプセル 250mg	セファクロルカプセル250mg「サワイ」
28	●ケフラル細粒小児用 100mg	セファクロル細粒小児用10%「サワイ」
29	●プルゼニド錠 12mg	センナリド錠 12mg
30	●ノルバデックス錠 10mg	タスオミン錠 10mg
31	●ラミシール錠125mg	テルビナフィン錠125mg「日医工」
32	メネシット配合錠100	ドパコール錠100mg
33	●ロコルナール錠 100mg	トラビジル錠 100mg「トーワ」
34	-	ニトロペン舌下錠 0.3mg
35	●アダラートL錠10mg	ニフェジピンL錠10mg「サワイ」
36	●アダラートカプセル 5mg	ニフェジピンカプセル 5mg「サワイ」
37	●リスモダンカプセル100mg	ノルペースカプセル100mg
38	-	バイアスピリン錠 100mg
39	●ディオバン錠80mg	バルサルタン錠80mg「サンド」
40	-	バロス発泡顆粒-S 210g (3.5g×60)
41	●ゾビラックス錠 200mg	ビクロックス錠 200
42	●ラキソベロン内用液 0.75% 1mL/10mL	ピコスルファートナトリウム内用液 0.75%「タナベ」
43	●25mgアリナミンF糖衣錠	ビタファントF錠25
44※	【在】ガスターD錠10mg	ファモチジンD錠10mg「サワイ」
45※	【在】ガスターD錠20mg	ファモチジンD錠20mg「サワイ」
46	●フェロミア錠50mg	フェロチーム錠50
47※	●ジフルカンカプセル100mg	フルコナゾールカプセル100mg「タカタ」
48	-	プロゲストン錠 2.5mg
49	●ヒスロンH錠 200mg	プロゲストン錠 200
50	-	プロルモン錠 20mg
51	●プロサイリン錠20	ペラプロストNa錠20μg「ファイザー」
52	-	マーロックス懸濁用配合顆粒(1.2g/包)
53	-	マグミット錠 330mg
54	-	マルファ配合内服液 210mL
55	●ミノマイシン錠 50mg	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サワイ」
56	●ミノマイシン顆粒 2%	ミノサイクリン塩酸塩顆粒 2%「サワイ」
57	●トレドミン錠25mg	ミルナシبران塩酸塩錠25mg「日医工」
58	【院外】リウマトレックスカプセル 2mg	メトレート錠 2mg
59	-	メニレット70%ゼリー30g
60	●テルネリン錠 1mg	モトナリン錠 1mg
61	-	モルベス細粒 2%
62	●ノイキノン錠 10mg	ユビデカレノン錠 10mg「トーワ」
63	【在】ザンタック錠150mg	ラニチジン錠150mg「タイヨー」
64	●リスモダンR錠150mg	ジソピラミド徐放錠150mg「SW」
65	ムコスタ錠100mg	レバミピド錠100mg「EMEC」
66	ロキソニン錠60mg	ロキソプロフェン錠60mg「EMEC」
67	【在】ロドピン細粒10%	ロシソピロン細粒10%
68	●ロドピン錠25mg	ロシソピロン錠25mg
69	●ロペミンカプセル1mg	ロペラミド塩酸塩カプセル1mg「フソー」
70	●塩酸バンコマイシン散 0.5g/瓶	塩酸バンコマイシン散 0.5「MEEK」

71	●沈降炭酸カルシウム	炭カル錠 500mg「旭化成」
〔外用剤〕		
72	-	5% サリチル酸ワセリン軟膏東豊
73	-	SPトローチ 0.25mg「明治」
74	●アンヒバ坐剤小児用 100mg	アセトアミノフェン坐剤小児用 100mg「タナベ」
75	●アンヒバ坐剤小児用 200mg	アセトアミノフェン坐剤小児用 200mg「タナベ」
76	●キシロカインビスカス 2%	アネトカインビスカス 2%
77	●イソジンガーグル 7% 30mL/瓶	イオダインガーグル液 7% 30mL
78	●ユーパスタコーワ軟膏 100g	イソジンシュガーパスタ軟膏
79	●オキナゾール錠錠 600mg	オキコナール錠錠 600mg
80	-	カリニューニ点眼液 0.005% 5mL
81	-	キシロカインボンブスプレー8% 80g
82	-	グリセリン洗腸「オヲタ」120
83	-	グリセリン洗腸「オヲタ」小児用 30
84	●ミルタックスパップ30mg(10cm×14cm)	ケトプロフェンパップ30mg「日医工」
85	-	コリナコール点眼液
86	-	サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット 1.3cm×5.1cm
87	-	サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット 10.2cm×20.3cm
88	-	サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット 15.2cm×22.9cm
89	-	サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット 2.5cm×5.1cm 綿型シート
90	-	サージセル・アブソーバブル・ヘモスタット 5.1cm×7.6cm
91	-	サテニジン液 10
92	●リンデロン点眼・点耳・点鼻液 0.1%	サンベタゾンPF眼耳鼻科用液 0.1%
93	インタール吸入液	ステリ・ネブクロモリン吸入液1%
94	-	ステリクロンBエタノール液 500mL
95	-	ステリクロンW液 0.02% 500mL
96	-	ステリクロンW液 0.05% 500mL
97	-	ステリクロンW液 0.5% 500mL
98	●セボフレイン吸入麻酔液 250mL	セボフルラン吸入麻酔液「マイラン」250mL
99	●サンコバ点眼液0.02%	ソフティア点眼液0.02%
100	●リザベン点眼液0.5% 5mL	トラニラスト点眼液0.5%「サワイ」
101	●クロマイ錠錠 100mg	ハイセチン錠錠 100mg
102	-	ハイポエタノール外用液 2%「アトル」500mL
103	-	ビスコート0.5眼粘弾剤 0.5mL
104	●フルメロン点眼液0.02% 5mL	ビトス点眼液0.02% 5mL
105	●スプレキュア点鼻液0.15%	プセレキュア点鼻液0.15%
106	-	ブレドネマ注腸 20mg
107	-	フローレス眼検査用試験紙0.7mg
108	-	フロジン外用液 5% 30mL
109	●ビソルボン吸入液 0.2% 45mL	プロムヘキシン塩酸塩吸入液 0.2%「タイヨー」
110	●ベトプティック点眼液0.5% 5mL	ベタキソン点眼液0.5% 5mL
111	-	ポピドンヨードスクラブ液7.5% (JJKK) 500mL
112	-	ポピドロン液10% 250mL
113	●ボルタレンサポ12.5mg	ボンフェナック坐剤12.5
114	●ボルタレンサポ25mg	ボンフェナック坐剤25
115	●ボルタレンサポ50mg	ボンフェナック坐剤50
116	-	亜鉛華 (10%) 単軟膏「ニッコー」
117	-	日点アトロピン点眼液1% 5mL
〔注射剤〕		
118	●ディプリバン注 200mg 20mL	1% プロポフォール注「マルイシ」20mL
119	●ディプリバン注 500mg 50mL	1% プロポフォール注「マルイシ」50mL
120	-	HMG「コーワ」75注用 75単位
121	-	HMG注射用 75IU「フェリング」
122	●ヴィーン3G輸液	アセトキープ3G注 500ml
123	ボスミン注 1mg 1mL	アドレナリン注 0.1% シリンジ「テルモ」
124	プロスコープ 300 注 シリンジ	イオプロミド300注シリンジ 100mL「FRI」
125	●イセパシン注射液 200	イセパマイシン硫酸塩注射液 200mg「日医工」
126	●イントラファット 200mL	イントラリボス輸液 20% 100mL
127	-	インフリキシマブBS点滴静注用100mg「NK」
128	●ラストット注 100mg/5mL	エトボンド点滴静注液 100mg「サンド」
129	●ファルモルピシン注射用10mg	エビルピシン塩酸塩注射用10mg「NK」
130	●ゲンタシン注10 10mg/1mL	エルタシン注10mg
131	●ゲンタシン注40 40mg/1mL	エルタシン注40mg
132※	エルプラット点滴静注用 50mg/10mL	オキサリプラチン点滴静注液 50mg/10mL「ホスピーラ」
133※	エルプラット点滴静注用 100mg/20mL	オキサリプラチン点滴静注液 100mg/20mL「ホスピーラ」
134	ビーエスエスプラス500眼灌流液 0.0184%	オペガードネオキット眼灌流液 0.0184%
135	オメプラール注用20	オメプラゾール注射用20mg「日医工」
136	キシロカイン「静注」2% 5mL	オリベス点滴用 1% 200mL
137	●イノバン注100mg 5mL	カコージン注 100mg
138	●パラプラチン注 150mg 15mL	カルボプラチン注射液 150mg「日医工」
139	●パラプラチン注 150mg 15mL	カルボプラチン注射液 450mg「日医工」
140	●ハイカリックNC-H輸液 700mL	カロナリーH輸液

141	●ハイカリックNC-L輸液 700mL	カロナリーL輸液
142	●ハイカリックNC-N輸液 700mL	カロナリーM輸液
143	●ソルダクトン静注用200mg	カンレノ酸カリウム静注用200mg「サワイ」
144	●カイトリル注1mg	グラニセトロン静注液1mg「NK」
145	●カイトリル注3mg	グラニセトロン静注液3mg「NK」
146	●グリセオール注 200mL	グリセレブ点滴静注
147	●ダラシンS注射液 600mg	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」
148	●注射用フサン 10	コアヒビター注射用 10mg
149	低分子デキストランL注 500mL	サヴィオゾール輸液 500mL
150	ソル・コーテフ静注用 100mg	【在】サクシゾン注射用 100mg
151	●サブラッド血液ろ過用補充液BS 2020mL	サブパック血液ろ過用補充液一Bi 2020mL
152	●ヘスパンダー 500mL	サリンヘス輸液 6%
153	●キロサイドN注1g	シタラピン点滴静注液1g「テバ」
154	●キロサイドN注400mg	シタラピン点滴静注液400mg「テバ」
155	●ニコリン注射液 250mg 2mL	シチコリン注 250mg/2mL「日医工」
156	●シプロキサ注300mg	シプロフロキサシン点滴静注300mg/150mL「明治」
157※	●ユナシン-S静注用1.5g	スルバシリン静注用1.5g
158※	●セファメジンα注射用1g	セファリンナトリウム注射用1g「日医工」
159	●モダシン静注用 1g	セフタジジム静注用 1g「マイラン」
160※	●ロセフィン静注用1g	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」
161	●ヴィーンF輸液 500mL	ソリューゲンF注
162	-	ソルデム1輸液 200mL
163	-	ソルデム1輸液 500mL
164	●ソリタT3G号 200mL	ソルデム3AG輸液 200mL
165	●ソリタT3G号 500mL	ソルデム3AG輸液 500mL
166	●ソリタT3号 200mL	ソルデム3A輸液 200mL
167	●ソリタT3号 200mL	ソルデム3A輸液 500mL
168	-	ソルデム6輸液 200mL
169※	●ラクテック輸液 500mL	ソルラクト輸液 500mL
170	●ゾメタ点滴静注4mg/5mL	ゾレドロン酸点滴静注4mg/5mL「NK」
171	-	ダルテパリンNa静注5000単位/5mL「タイヨー」
172	●プロスタンディン点滴静注用 20μg	タンデトロン注射用 20
173※	●プロスタンディン点滴静注用 500μg	タンデトロン注射用 500
174	●注射用タゴシッド200mg	テイコプラニン点滴静注用200mg「日医工」
175	●デカドロン注射液 1.65mg	デキサート注射液 1.65mg
176	●デカドロン注射液 6.6mg	デキサート注射液 6.6mg
177	アミノレバン点滴静注 500mL	テルフィス点滴静注
178	-	テルモ生食TK 100mL
179	●アドリアシン注10mg	ドキシソルビシン塩酸塩注射用10mg「NK」
180	●アドリアシン注50mg	ドキシソルビシン塩酸塩注射用50mg「NK」
181	-	ドセタキセル点滴静注液120mg/12mL「ホスピール」
182	●ワンタキソテル点滴静注液20mg/2mL「ホスピール」	ドセタキセル点滴静注液20mg/2mL「ホスピール」
183	●ワンタキソテル点滴静注液80mg/8mL「ホスピール」	ドセタキセル点滴静注液80mg/8mL「ホスピール」
184	●ドブトレックス注射液 100mg5mL	ドブタミン点滴静注液100mg
185	●ドブトレックス注 100mg 5mL	ドブボン注 0.3% シリンジ 150mg/筒
186	●タキソール注射液100mg	パクリタキセル点滴静注液100mg/16.7mL「ホスピール」
187	●タキソール注射液30mg	パクリタキセル点滴静注液30mg/5mL「ホスピール」
188	-	パロジエクトゾル 100 600mL
189	●ゾビラックス点滴静注 250mg	ピクロックス点滴静注 250mg 10mL
190	強カネオミノファーゲンシーP静注 20mL	ヒシファーゲン配合静注
191	●ビドキサル注30mg	ピタゼックス注30mg
192	●グランシリンジ75μg	フィルグラスチムBS注75μgシリンジ「モチダ」
193	●フェンタニル注射液0.1mg 2mL「第一三共」	フェンタニル注射液 0.1mg「ヤンセン」
194	●フェンタニル注射液 0.1mg 2mL「第一三共」	フェンタニル注射液 0.5mg「ヤンセン」
195	●プリプラチン注 10mg 20mL	シスプラチン点滴静注液 10mg/20mL「ファイザー」
196	●プリプラチン注 50mg 100mL	シスプラチン点滴静注液 50mg/100mL「ファイザー」
197	-	フルオレサイト静注 500mg
198	●アネキセート注射液0.5mg 5mL	フルマゼニル静注液0.5mg「テバ」
199	●アリナミンF50注 20mL	フルメチ静注50mg
200	●プロゲデポー筋注 125mg 1mL	プロゲストンデポー筋注 125mg
201	●プロスタルモン・F注射液1000	プロスモン注1000
202	●ヘパリンNaロック用100単位/mLシリンジ10mL「タナベ」	ヘパリンNaロック用100単位/mLシリンジ「オーツカ」10mL
203	●ヘパリンNaロック用10単位/mLシリンジ5mL「タナベ」	ヘパリンNaロック用10単位/mLシリンジ「オーツカ」5mL
204	-	ヘパリンカルシウム皮下注5千単位/0.2mLシリンジ「モチダ」
205	●マスキュラックス静注用 4mg	マスキュレート静注用 10mg
206	●マスキュラックス静注用 10mg	マスキュレート静注用 4mg
207	●ミリスロール注 50mg 100mL	ミオコール点滴静注 50mg 100mL
208	ドルミカム注射液10mg 2mL	ミダゾラム注10mg「サンド」
209	-	ミニヘパ透析用 200単位/mLシリンジ 20mL
210	●エレメンミック注 2ml	ミネラミック注 2ml
211	●ミノマイシン点滴静注用 100mg	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「日医工」
212	-	ラクテックG輸液 500mL
213	●ナゼア注射液 0.3mg	ラモセトロン塩酸塩注射液 0.3mg「EMEC」
214	●アイソボリン注 100mg	レボホリナート点滴静注用 100mg「ヤクルト」
215	●アイソボリン注 25mg	レボホリナート点滴静注用 25mg「ヤクルト」

216	●エフオーワイ注 100mg	レミナロン注射用 100mg
217	●エフオーワイ注 500mg	レミナロン注射用 500mg
218	●ナベルピン注 10	ロゼウス静注液 10mg
219	●ナベルピン注 40	ロゼウス静注液 40mg
220	●スルペラゾン静注 1g	ワイスタール静注用 1g
221	イノバン注0.3%シリンジ 150mg/50mL	塩酸ドパミン注キット 200 200mg/200mL
222	●ソルメドロール注 125mg	注射用ソル・メルコート 125
223	●ソルメドロール注 40mg	注射用ソル・メルコート 40
224	●ソルメドロール注 500mg	注射用ソル・メルコート 500
225	注射用フサン50	注射用ナファモスタット50「MEEK」
226	●塩酸バンコマイシン注0.5g	点滴静注用バンコマイシン 0.5「MEEK」

(平成 27 年 10 月現在)

- : 院内採用なし

【在】: 在庫終了次第院内採用削除となる医薬品

【院外】: 院外処方箋でのみ処方可能な医薬品

● : 在庫終了医薬品

※ : 平成 27 年度第 3 回薬事委員会採用医薬品

【4】医薬品に関わる医療安全情報

詳細は日本医療機能評価機構 HP をご参照ください。

医療安全情報No.106 http://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_106.pdf



小児の薬剤の調製間違い

小児に正しい処方が出ていたが、薬剤の調製を間違い、過量投与した事例が5件報告されています(集計期間:2012年1月1日~2015年7月31日)。この情報は、第27回報告書「個別のテーマの検討状況」(P145)で取り上げた内容を基に作成しました。

小児の薬剤を調製する際、計算間違いや思い込みにより調製を間違い、過量投与した事例が報告されています。

薬剤名	医師の指示	間違えて調製した量	年齢	背景
点滴静注用 バンコマイシン0.5 「MEEK」	40mg/回	400mg/回	0ヶ月	1g=100mgと思い込んだ
点滴静注用 バンコマイシン0.5 「MEEK」 (2バイアル)	70mg/回	700mg/回	2ヶ月	100mg/mLの濃度に溶解後、 0.7mLという液量に違和感があり、 7mLだと思い込んだ
プログラフ 注射液2mg	0.18mg/日	1.8mg/日	2歳	・計算式の誤り ・処方に正しい希釈方法が記載 されていたが照合しなかった
アミカマイシン 注射液100mg	4.5mg/回	18mg/回	0ヶ月	計算間違い
フルダラ静注用 50mg	15mg/日	30mg/日	2歳	計算間違い

〔小児の薬剤の調製間違い〕

事例 1

0ヶ月の患児に「バンコマイシン40mg+生食5mL 5mL/h 1日3回」の指示があった。本来であれば、バンコマイシン0.5gを生食5mLで溶解し、そのうち0.4mLが40mgになるが、看護師Aは「1g=100mg」(正しくは1g=1000mg)と思い込み暗算した。看護師Aは確認のため、看護師Bに「バンコマイシン0.5gを生食5mLで溶解して4mLでいいね」と口頭で言い、看護師Bは自分で計算しないまま「はい、そうです」と答えた。看護師Aはその通りに調製し、投与した。翌日、バンコマイシンの血中濃度の上昇を認め、調製の間違いに気づいた。

事例 2

2歳の患児にプロGRAF注射液2mg(0.4mL)を0.18mg/48mLに調製して持続静注を開始する際、小児科医師は注射オーダに「生食19.6mLとプロGRAF0.4mLを混ぜ0.1mg/mLとし、その内1.8mLを生食と足して計48mLとする」と調製方法をコメントしていた。薬剤師が計算した際に計算式を誤り0.18mgのところ1.8mgとし、その後、医師のコメントと照合しなかった。そのため、本来であれば0.1mg/mLとしたプロGRAF1.8mL(=0.18mg)のところ18mLで調製し、投与した。翌日、薬剤部でプロGRAFを調製した際、前日の調製の間違いに気づいた。

事例が発生した医療機関の取り組み

小児に薬剤を投与する際、以下を実施する。

- 医師は、処方箋のコメント欄に希釈方法を具体的に記載する。
- 薬剤部では、鑑査時に計算式を確認する。
- 調製時、投与量の計算過程を記録し、2名で確認する。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の趣旨等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。

<http://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。